

柏市地域包括支援センター運営事業評価のまとめ

地域包括支援センター名	平成31年度（令和元年度）柏市地域包括支援センター運営事業評価の講評	令和2年度柏市地域包括支援センター機能向上に向けた支援
柏北部	<ul style="list-style-type: none"> ・センター独自のケアプランチェックリストを作成・活用し、センター職員及び地域のケアマネジャーの資質向上につなげた。柏市版ケアプランチェックリストの完成にも貢献し、柏市全体のケアマネジメント向上に寄与した。 ・オレンジフレズ主体のカフェ立上げや家族向け認知症サポーター養成講座及び交流会の開催等、認知症の方やその家族の居場所づくりにつなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談やケア会議の分析に基づく課題抽出を行い、各事業の計画に反映できるよう支援する。
柏北部第2 (R2.6月開設)		<ul style="list-style-type: none"> ・前担当センターからスムーズな引継ぎが行われるよう支援する。 ・各事業内での優先順位を整理して、一つずつ確実に業務が進められるよう支援する。
北柏	<ul style="list-style-type: none"> ・センター主催の研修を通じて地域で開業した医師と地域のケアマネとの顔の見える関係構築を支援し、具体の連携につなげた。 ・オレンジフレズのスキルアップのため研修会を開催し、学んだ技法が認知症カフェでの対応に活かされる等、支援者の質の向上を支援した。 ・前年度のウォーキング講座参加者に対して継続的に支援し、自主グループ立ち上げにつなげた。また、サロン等でDVDの活用を促し、ロコトレの普及を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じこもりやうつの高齢者に向けたアプローチを効果的に行えるよう支援する。 ・地域の課題抽出を意識した地域ケア個別会議が開催できるよう支援する。
北柏第2	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との面談や積極的な地域活動団体への訪問等を行い、関係の強化に努めた。 ・支えあい推進員等と打ち合わせを積極的に行ったほか、地域ケア圏域推進会議を支えあい会議と合同により地域ごとに開催する等、支えあい活動を推進した。 ・認知症カフェでは家族と本人が参加しやすい工夫し、参加者増加につなげた。また、地域のスポーツジムや商店街等、幅広い対象に認知症サポーター養成講座を行い地域の認知症に対する意識を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援に向けたケアプラン作成及び助言が効果的に行われるよう支援する。 ・総合相談の細かな分析を行い、各事業の計画に反映できるよう支援する。
柏西口	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員とのミーティングから、要援護者の情報を共有し、定期巡回でセンター職員が訪問することで要援護者の状況把握につなげた。 ・地域とのつながりを強化したいとのケアマネジャーからのニーズがあり、地域ケア推進圏域会議において、民生委員等の地域関係者との意見交換を行い、地域のネットワーク構築に努めた。 ・地域団体への支援として、地域のサロンへ出向き、新規参加者の受け入れにつなげており、また、篠籠田・八ツ原・明原での通いの場の立ち上げ支援に尽力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度構築した「さんあいネットワーク」の強化に向け、地域関係者との情報共有や多世代への周知活動が進むよう支援する。 ・地域の課題抽出と解決に向けた事業展開ができるよう支援する。
柏西口第2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアマネジャーのワーキンググループを作り、研修等へ地域ケアマネジャーのニーズが反映されやすい体制を構築し、スキルアップにつなげた。 ・ケアマネジャーへ地域活動について紹介し、ケアプランへの位置づけ方等について提示し、インフォーマルサービス等の利用促進につなげた。 ・フレイル予防に関する自主グループの立ち上げ支援を行い、ウォーキングや認知症予防講座等を実施する団体が3箇所立ち上がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域分析結果に基づいた事業展開に向けて、地域課題の抽出や分析ができるよう支援する。 ・担当地域全体を意識した認知症の普及啓発活動がなされるよう支援する。
柏東口	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体への支援として訪問した結果（サロンや通いの場へのインタビュー）を地域資源マップへ掲載し、内容を充実させ、社会資源の周知につなげた。 ・年6回シリーズで成年後見制度についてわかりやすくまとめた広報誌「東口ニュース」の発行や成年後見制度のオープン講座を2回シリーズで開催し、実際に相談に行く等の地域住民の行動変容につなげた。 ・フレイル予防に関する連続講座を開催し、参加者同士の関係構築や地域の活動団体と連携した講座を開催し、地域のフレイル予防に関する意識の醸成へつなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別事例の抽出や地域課題の整理を行い、地域ケア会議が計画的に実施されるよう支援する。 ・認知症のかたの金銭管理について、地域関係機関との連携が強化されるよう支援する。
柏東口第2	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談件数や相談内容を集計・傾向を分析し、支えあい会議やサロンでセンターの活動を説明する時の資料に使用し、地域住民との共有を図り、課題の共有に努めた。 ・富里地域・永楽台地域の支えあい推進員と一緒に居宅介護支援事業所を回り、推進員のケアマネジャーについての理解や支えあい活動の促進につなげた。 ・地区診断の結果や介護予防ケアマネジメントの現状から栄養に関する課題を抽出し、ケアマネジャーや地域住民に対し低栄養予防の講座を実施し、実際の栄養に関する支援や地域の理解促進につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のインフォーマルサービスの利用促進に向けた、ケアマネジャーや支えあい推進員との情報共有や連携がされるよう支援する。 ・認知症の啓発の機会に「かしわオレンジネットワーク事業」メール配信サービスの登録を勧め、地域のゆるやかな見守り体制の構築されるよう支援する。
光ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関主催の会議や研修会に積極的に参加し、ネットワークの構築に努め、相談者や各種活動への効果的な支援につなげた。 ・認知症カフェでは家族と本人が参加しやすい工夫し、居場所づくりと参加者の増加につなげた。また、小学校での認知症サポーター養成講座や徘徊模擬訓練を通じ、多世代への認知症普及啓発に努めた。 ・フレイルチェック講座でハイリスクに該当した方に対しアセスメントを行い、専門職による短期プログラムや参加が望ましい講座・活動へつなげ、フレイル予防を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方の見守りや居場所の充実が図れるよう、かしわオレンジSOSネットワーク協力事業所の増加と認知症カフェの運営を支援する。 ・総合相談の細かな分析を行い、各事業の計画に反映できるよう支援する。
柏南部	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度発足した移送サービスを協議する会議を継続開催し、地域内にある病院の送迎バスルートの延伸と停留所の増加につなげた。 ・自立支援に向けたプラン作成を目的とした地域のケアマネジャー対象の勉強会を他包括と協力して開催し、ケアマネジャーのスキルアップにつなげた。 ・相談支援専門員との事例検討会、民生委員とケアマネジャーとの意見交換会を積極的に開催し、地域の関係者との連携強化に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジフレズの協力を得て、認知症カフェが安定的に運営できるよう支援する。 ・総合相談の分析、地区診断結果、個別事例の抽出から地域課題の整理を行い、解決に向けた事業展開ができるよう支援する。
柏南部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援に向けたプラン作成を目的とした地域のケアマネジャー対象の勉強会を、他包括を巻き込み企画運営し、ケアマネジャーのスキルアップにつなげた。 ・地域住民や関係部署との連絡調整会議を立ち上げ、地域ニーズに基づいた資源開発の支援を行い、「お買い物ツアー」を企画実施し、高齢者の外出の機会の創出へつなげた。 ・サービス事業者等を巻き込み移動手段を確保することで、介護者の集いや認知症カフェへの参加につなげ、本人や家族を地域で支える取組みができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジフレズが活動を活発に行えるよう行う周知活動が効果的に行われるよう支援する。 ・各事業の展開の裏付けとして総合相談や各種データの積上げを行えるよう支援する。
沼南	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャーのニーズを踏まえ、気軽に情報や意見を交換できる「けあまねえカフェ」を定期的に設定し、横のつながりを深めた。 ・認知症サポーター養成講座を学校を中心に積極的に開催した。講座では受講者がより身近な話として捉えられるよう工夫し、学生の高齢者への理解促進へつなげた。 ・フレイルチェックで要フォロー者となった方に対して、その後の活動状況を個別に確認し、必要な情報を提供する等の支援を行い、フレイル予防に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で口腔の健康に関する意識が高まるよう取り組む調査や周知活動が円滑に行えるよう支援する。 ・高柳相談窓口（ランチ）が機能的に運営されるよう、データ抽出等に協力する。